

講座 生産生態科学

2.5.7 研究分野：生態情報開発学

構成員：	教授	天野 洋
	准教授	刑部 正博
	助教	矢野 修一
	大学院博士後期課程	1名
	大学院修士課程	3名
	専攻4回生	4名
	特定研究員	2名
	研究員	2名

A. 研究活動（2010.4～2011.3）

A-1. 研究概要

A-2. 研究業績（国内・国外含む）

a) 成果刊行

原著論文（書評論文を含む）

- ・ Suzuki, H., K. Yasuda, K. Ohashi, H. Takahashi, M. Fukaya, S. Yano and Mh. Osakabe: Kanzawa spider mites acquire enemy-free space on a detrimental host plant, oleander. Entomol. Exp. Appl. 138: 212-222, 2011. 査読有
- ・ Nguyen, T. T. P. and H. Amano: Sperm reception and egg production of mating-interrupted, single-mated, and multiple-mated females of *Neoseiulus californicus* (McGregor) at different temperatures (Acari: Phytoseiidae). J. Acarol. Soc. Jpn. 19: 97-106, 2010. 査読有
- ・ Hinomoto, N., T. Shintaku and H. Amano: Comparison of genetic diversity among three phytoseiid mite species in Japan by mitochondrial DNA sequence analysis. J. Acarol. Soc. Jpn. 19: 9-14, 2010. 査読有
- ・ Shimoda, T., H. Kishimoto, J. Takabayashi, H. Amano and M. Dicke: Relationship between the ability to penetrate complex webs of *Tetranychus* spider mites and the ability of thread-cutting behavior in phytoseiid predatory mites. Biol. Cont. 53: 273-279, 2010. 査読有
- ・ Shinmen, T., S. Yano and Mh. Osakabe: The predatory mite *Neoseiulus womersleyi* (Acari: Phytoseiidae) follows extracts of trails left by the two-spotted spider mite *Tetranychus urticae* (Acari: Tetranychidae). Exp. Appl. Acarol. 52: 111-118, 2010. 査読有

・ Sakai, Y. and Mh. Osakabe: Spectrum-specific damage and solar ultraviolet radiation avoidance in the two-spotted spider mite. Photochem. Photobiol. 86: 925-932, 2010. 査読有

・ Nguyen, T. T. P. and H. Amano: Temperature at immature and adult stages differentially affects mating duration and egg production of Neoseiulus californicus females mated once (Acari: Phytoseiidae). J. Asia-Pacific Entomol. 13: 65-68, 2010. 査読有

・ 城塚可奈子、矢野修一: カブリダニの共食いを防ぐ累代飼育システム. Jpn. J. Appl. Entomol. Zool. 55: 25-27. 2011. 査読有

b) 学会発表

- ・ XIII International Congress of Acarology (3件)
- ・ 第55回日本応用動物昆虫学会大会 (11件)
- ・ 第19回日本ダニ学会大会 (6件)
- ・ 個体群生態学会第26回年次大会 (3件)

A-3. 国内における学会活動など①

所属学会等 (役割)

- ・ 天野 洋: 日本応用動物昆虫学会 (編集委員)、日本昆虫学会、日本ダニ学会

・ 刑部 正博: 日本応用動物昆虫学会 (評議員、英文誌編集責任者)、日本遺伝学会、日本農薬学会、個体群生態学会、日本ダニ学会 (評議員、編集委員長)

・ 矢野 修一: 日本応用動物昆虫学会 (編集委員)、個体群生態学会、日本ダニ学会、日本生態学会

学術会議関連 (役割)

- ・ 天野 洋: 日本農学アカデミー (会員)

A-3. 国内における学会活動など②

競争的資金等獲得状況

① 科学研究費補助金

・基盤研究（C）：矢野修一：農業ダニ類の食物連鎖に及ぼす影響

・基盤研究（C）：天野 洋：農家による農家のための天敵昆虫類増殖装置の開発及び害虫管理技術の確立支援

・基盤研究（B）：刑部正博：ハダニの紫外線適応に関する生理基盤の解明

②その他の競争的資金

・新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（研究領域設定型研究）：天野 洋：環境保全型農業と両立する生物的相互関係を活用した難防除コナダニ類新管理体系の確立

A-4. 国際交流・海外活動①

所属学会等（役割）

・天野 洋：Acarological Society of America

・刑部 正博：The Entomological Society of America、European Association of Acarologists

・矢野 修一：

国際会議・研究集会等（国、役割）

・刑部 正博：XIII International Congress of Acarology（招待講演）

A-4. 国際交流・海外活動②

外国人研究者の受入

・外国人特別研究員 1名 （連合王国）

B. 教育活動（2010. 4～2011. 3）

B-1. 学内活動

a) 開講授業科目（担当教員）

・全学共通科目： 生態学から持続的社會へ（天野）

・学部： 生態学（天野）、生態情報開発学（天野）、生態制御学（刑部）、生産生態科学演習（天野、刑部）、資源生物科学概論Ⅳ（分担：天野、刑部）、資源生物科学専門外書講義Ⅱ（分担：天野）、資源生物科学実験及び実験法Ⅰ・Ⅱ（分担：矢野）

- ・大学院：生態制御学特論（刑部）、生態情報開発学演習（天野、刑部、矢野）、生態情報開発学専攻実験（天野、刑部、矢野）

B-2. 学外における教育活動

学外非常勤講師

- ・天野 洋：放送大学千葉学習センター（昆虫の世界をのぞく）
- ・刑部 正博：石川県立大学生産科学科（応用昆虫学）

公開講座等

・天野 洋：平成22年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者養成システム改革加速」千葉大学理系女性教員キャリア支援プログラム 研究スキルアップセミナー（招待講演）

・矢野 修一：化学生態学ラボ特別セミナー、京都工芸繊維大学化学生態学研究室、研究発表